



12月に入ると風が冷たく、ひよこ組の子どもたちには、園庭に出る機会が少なくなってきましたが、暖かい室内で新聞紙を破ったり、シール貼りやシール剥がしをして遊んでいます。シールの台紙から剥がせない時は、保育士が手伝い、広い段ボールいっぱいペタペタシールを貼っています。指先で上手につまみ、貼ることが出来るようになってくると、自分のズボンや足にも貼っていました。くつつく事が不思議なんですね。

また、手足の力が強くなり、身体のバランスをとることも上手になって来ました。トランポリンや巧技台に登ったり、廊下で三輪車に乗ったりしていますが、その動きが速いことに驚かされます。

コロナ禍の中で、今年も昨年同様少し趣の異なった年末年始を迎えますが、子どもたちの動きや、言葉表情などに表れる成長と愛らしさが、ご家族にとっては、喜びや希望となって、新しい年を迎える力になっていくのではと思いました。

来年も子ども達が、元気に過ごし楽しく遊びながら、伸び伸びと自分らしさを表現し、育っていくことを支えていきたいと思えます。

☆新聞って面白い!

床一面に新聞紙を広げると、その上を歩いたり手にとったりしていました。保育士が破ってみせたり、切り目を付けておくと、すぐに気付いた子どももいてその切り目を見つけてピリピリと破りました。「あ、破れたね」と、言うとき得意げな表情でした。他の子どもたちも、破ったり、くしゃくしゃにして紙を破る楽しさや、形が変わる面白さを味わっていたようです。



☆絵本大好き!

食事前やお昼寝前に絵本、『だるまさんの』や『ごあいさつあそび』の読み聞かせをしています。絵本を読もうとすると目をキラキラさせてすぐに集まって来ます。だるまさんの絵本では、

「だ・る・ま・さ・ん・の」と保育士がゆっくり読むと、絵本を真似て身体を左右に揺らして楽しんでいます。ごあいさつあそびの絵本の時は、「こんにちは」で、頭を下げたりしています。少しずつ絵本に興味を示すようになっていきます。園の絵本コーナーをご利用頂いてご家庭でも親子で絵本を楽しんで下さい。



☆今月の壁面

足形をとってツリーにしたよ♪



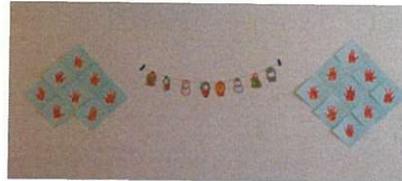
☆第9号☆



令和3年12月10日(金)

先日、子どもたちが製作したクリスマスツリーとトナカイを保育室に飾りました。飾っている時は「せんせい何してるの?」と不思議そうな表情で見ていた子どもたちですが、飾り付けが終わると「クリスマスツリーだ!」「サンタさんだ!」と言ったり「ジングルベル♪ジングルベル♪」と歌い始めました。保育室が一気にクリスマスムードになり、子どもたちはサンタさんが来てくれるのをとても楽しみにしています。

体調を崩しやすい季節となり増した。子どもたちの体調を見ながら元気に過ごしていきたいと思います。



すみれぐみの音楽家

園庭で拾ったどんぐりを容器に入れてシールを貼り、マラカスを作りました。作ったマラカスで「どんぐりころころ」や「まつぼっくり」「山の音楽家」などの歌を保育士のピアノに合わせて振って音を鳴らして遊びました。好きなタイミングでみんなマラカスを振っていて、保育士や友だちと目を合わせながら楽しそうにリズム遊びをしていました。



12月から新しいお友だちが増えました! N・Y くんです。



絵本の紹介

「おべんとうバスのかくれんぼ」

「かくれてるのはだあれ?」と子どもたちに聞いてみると「ハンバーグくん」「とまとちゃん」など隠れている食べ物の名前を次々に答えてくれて、遊びながら読み聞かせをしています。



お知らせ

12月18日(土)は、以上児クラスの生活発表会の為、すみれ組はお休みです。ご協力よろしくお願い致します。

年末年始のお休みの間はお子様と一緒に過ごす時間が増えることでしょうか。子どもたちが元気に登園し、休み間の楽しい話が聞けることを心待ちにしております。

本年も保護者の皆様よりたくさんのご理解とご協力を賜りましたこと大変感謝しております。来年も引き続きよろしくお願いいたします。

1歳児担任：田上・福岡・五島・木山



令和3年12月10日(金)

今年も残り1カ月となりました。時の流れの早さをつくづく実感する今日この頃です。クラス活動のなかで、友だち同士上手く気持ちが伝わらず、トラブルになることもあります。今では少しずつ相手の気持ちに気づき、「どうしたの？」などと優しく声をかけたりして、相手の気持ちに寄り添う、思いやりの姿も見られるようになってきました。寒さも厳しくなってきましたが、子どもたちのそんな姿に心が温かくなります。来年も、子どもたちの成長を見守りながら過ごしていきます。

「どうぞのいす」

今年の生活発表会のテーマは『友だち』です。こすもす組の子どもたちは、大好きな絵本「どうぞのいす」を劇で表現します。うさぎさんが作ったイスをめぐって、次々に繰り広げられる取り替えっこ。このお話で面白いのは登場する動物たちが直接会っておらず、繋がっているのは『どうぞのいす』という言葉のみです。

劇遊びの中で、それぞれ好きな動物になり友だちと一緒に表現を楽しんでいる子どもたち。はじめは恥ずかしさや緊張もあり声が小さかった子どもたちも今では自信がついてきたようで大きな声で台詞を言ったり、身体を使って表現したりしています。3歳以上児になり初めての生活発表会。「お母さんたちに早く見てもらいたい」「あと何回寝たら発表会？」などと楽しみにしているようです。普段とは違った雰囲気、緊張するかもしれませんが、子どもたちのありのままの姿や成長した姿をお楽しみいただければと思います。



楽器遊び

タンバリンやカスタネットを使った楽器遊びを楽しんでいます。簡単な曲に合わせて「タン・タン」や「タンタンタン」などのリズムで演奏しています。最近、年長さんが大太鼓や木琴などを使って合奏をする音がお部屋にも聞こえてきます。その音に「あの音は何?」「この大きい楽器は何て名前なの?」など興味津々です。これから、色々な楽器に触れていきたいと思っています。

お知らせ

12月29日(水)から1月3日(月)までは、お休みとなっています。

1月4日(火)に元気な子どもたちと会えるのを楽しみにしています。

来年度もよろしく願いいたします。

こすもす組担任：崎野、中西



令和3年12月10日(金)

日に日に寒さがまし、いよいよ冬本番の季節を感じるようになりました。子どもたちは寒い日でも園庭で、鬼ごっこを楽しんでいます。以前は、保育士が促しながら遊んでいましたが、今では子ども同士でルールや遊び方を決めて、みんなでそれをまもり遊ぶようになりました。決める中で意見がぶつかることもありますが譲り合ったり子どもたちだけで解決できるようにもなって成長を感じています。来年もこれまでと同じく、子どもたちの成長を見守りながら過ごしていきます。



「もうすぐ生活発表会」

今年度の生活発表会のテーマは「ともだち」です。ひまわり組は合奏、英語、劇を披露します。

合奏はタンバリン・竹太鼓の打楽器と鍵盤ハーモニカ・木琴の鍵盤楽器を使って『おうまはみんな』を演奏します。それぞれの楽器の使い方を教えると「先生、これしていい？」と自由遊びの時間も練習していました。初めはバラバラでしたが繰り返すうちにリズムを合わせ演奏できるようになりました。

劇のテーマは『あらしのよるに』です。少し長い内容ですが、DVDや絵本を繰り返し見たり、5歳児と一緒に劇遊びをしたりする中でストーリーを少しずつ覚えてきました。ひまわり組の子どもたちは、劇の中でナレーター役をします。台詞がなかなか出なかったり、恥ずかしそうに言ったりする姿がありましたが、最近では、自分なりの言葉で自信を持って話せるようになってきました。

「あと〇日したら発表会よ」など本番に向け緊張と楽しみが混ざっているような表情をしている子どもたちです。今年も新型コロナウイルス感染予防の為、一家庭一人の参加ですが、成長した子どもたちの姿を見ていただけたらと思います。

絵本の紹介

「100にんのサンタクロース」

ここは100人色々なサンタクロースがすむ街。サンタクロースたちは、1年間かけ「クリスマス」にむけて準備し子どもたちへプレゼントを配ります。プレゼントを配り終わった後は、サンタクロースたちだけのクリスマスパーティーが待っています。サンタクロースの世界を知れる一冊です。ひまわり組で読んでみると、本当に100人いるか数える子どもや100人それぞれの仕事について話す子どもなど、サンタクロースの世界に興味津々です。100人の中でも、子どもに人気なのは「お寝坊サンタ」なんとクリスマスパーティーが終わるまで寝ているのです。最後のページで出てくると「まだ寝とる！」とみんなで大笑いしています。



～お知らせ～

今年も残りわずかとなりました。保護者の皆様から温かい支援とご理解を頂き、ありがとうございました。

今年の**保育納めは28日(火)**です。

1月4日(火)より保育始めとなります。

元気な皆様にお会いできるのを楽しみにしています。

来年もよろしくお願いたします。

4歳児担任：草場



発行：令和3年12月10日（金）

「あらしのよるに」

絵本・童話作家の木村裕一さんの代表作の中に『あらしのよるに』という作品があります。このお話は映画やアニメ化もされ親しみもあり、子どもたちも大好きなお話です。

ある嵐の夜のこと。真っ暗闇の小屋の中で偶然出会ったオオカミのガブとヤギのメイは、お互いの姿を知らないまま意気投合して仲良くなり、再会の約束をします。次の日、初めてお互いの姿を見て驚きますが、2匹は相手を、そして自分を信じて友達になります。こうして誰にも言えない「ひみつのもだち」となった2匹は様々なことを乗り越えて、強い絆で結ばれていきます。

このお話を読んだとき、子どもたちは「私がメイだったら…」「ぼくがガブだったら…」と本来ならば敵である、自分と姿の違う相手を信じていることができるだろうかと悩んでいました。しかし「オオカミでもヤギでも関係ないよね」「だって友だちやもん」と相手を思う気持ちの大切さやお互いを信じる絆の強さに気づき、胸を熱くしていました。

劇遊びを進めていくうちに、ガブとメイのような強い絆で結ばれた、たんぼぼ組23名は「最後の生活発表会やけ、みんなで一緒に頑張ろう」とそれぞれが「こうしたらどう？」とアイデアを出し合いながら、熱い思いを持ってそれぞれの役になり表現をしています。

生活発表会では、子どもたちの懸命な姿と温かい思いを皆様に届けられたらと思います。

お知らせ

緊急事態宣言に伴い、延期されていた日帰り保育（もりのいえ）を令和4年1月22日（土）に予定しております。

9月に延期になり、どんじゃらほいさんからの手紙で“冬に会おう”と約束をしてから「もうすぐかな?」「どんじゃらほいさん見に来とるかも!」と心待ちにしている子どもたちです。まだまだ、油断できない状況は続いていると思いますが、一つでも多くの思い出をたんぼぼ組のみんなで作れたらと思っています。

子どもたちにはどんじゃらほいさんからの手紙で知らせたいと思っていますので、日程は子どもたちに内緒にして頂けると助かります!ご協力お願い致します。

お忙しい中、衣装の準備
ありがとうございます。

衣装を着ての練習では
より一層気合いが入っている
子どもたちです!



今年も残りわずかとなりました。年長児としてさまざまな経験を通して、強く優しい思いやりの心を持った素敵な子どもに育っています。保護者の方々のご協力に感謝しています。ありがとうございます。来年もどうぞよろしくお願い致します。